

MELON 情報紙

Miyagi Environmental Life Out-reach Network



2014年1月★第106号

～ 謹 賀 新 年 ～

「虚偽表示」の民主主義 理事長 長谷川 公一



理事長 長谷川公一

「新年の挨拶」をすべきコーナーだが、これからの日本の政治と社会に対して暗澹たる思いである。申し訳ないが、「明けましておめでとうございます」と型どおりに記す気持ちにはなれない。2013年12月6日はマンデラ元大統領の逝去が伝えられた日だったが、日本の国会では、「特定秘

密保護法」が強行可決された。同日、経済産業省は、原発を重要なベース電源とするエネルギー基本計画の原案を発表した。

7月の参院選で「ねじれ国会」が解消し、「高い」内閣支持率を背景に、安倍内閣の暴走が始まった。「秘密」の範囲の恣意性や思いつきの「第三者機関」の乱造など、あまりにも稚拙で、拙速な「特定秘密保護法」が成立してしまった。安倍政権がその先に見据えているのは、原発再稼働であり、集団的自衛権の容認であり、憲法「改悪」である。なりふり構わず、タカ派路線を突き進みつつある。問われているのは、それに対する社会的・政治的防波堤である。ニューヨークタイムズはじめ、欧米の

メディアも、安倍政権の動向を憂慮している。

1982年10月以来、この31年間のドイツの首相はわずかに3人。対するに、中曽根康弘以来、現在の安倍晋三まで、この間の日本の首相は18人（安倍は1人とカウント）。とくに2007年以降、2年続けて新年の挨拶ができた首相は1人もいない。6人（安倍・福田・麻生・鳩山・菅・野田）とも1年前後で賞味期限切れになった。

振り子は、ねじれ国会のもとでの短命政権か、「一強政党」のもとでのタカ派路線の強行か、という両極に大きく振れ、成熟した「民主主義」や、成熟した「市民社会」にはほど遠い、惨憺たる荒野がひろがっている。平然と、あるいは無邪気に看板を偽る「虚偽表示」は、ホテルやレストランだけの問題ではない。私たちの足元の深淵にひろがっている。

「あなたの行う行動がほとんど無意味だとしても、それでもあなたは、それをやらなければならない。それはあなたが世界を変えるためではなく、あなた自身が世界によって変えられないようにするためです」。ネルソン・マンデラにも大きな影響を与えたガンジーの言葉だ。「新年の挨拶」に代わって、ここに記したい。「1941年12月8日」の意味をあらためて考え抜くために（2013年12月7日）。

MELONとは 公益財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク ― 通称「MELON」。1992年の地球サミットをきっかけに翌'93年に誕生しました。緑と水と食をとおして環境とくらしを考え、地域と地球環境に寄与しようと多くの市民、学者、知識人、協同組合、企業、団体が作られたNGO（非政府組織）です。地域と地球環境を守るため1人ひとりの参加と協力をつなぎます。

MELON 会員募集

MELONの活動は会員の会費で支えられています。

MELON会員特典

- MELON主催イベントに会員割引で参加できます。
 - ごみや水、緑や食、自然エネルギーや企業の環境の取り組みなどをテーマに勉強会や見学会を行う部会に参加できます。
 - ボランティアや部会に参加することにボランティアポイントが1個もらえ、5個集まると1,000円分のMELON商品券と交換できます。
 - 年5回の情報紙をお届けします。
 - メールアドレス登録で、会員同士の情報交換ができるメーリングリストに登録できます。
- ～入会希望の方は事務局までお問合せください～

Index

- P1. 「虚偽表示」の民主主義
- P2. 「宮城県産材を使用した地球環境に優しい住宅」建設に向けた見学会とシンポジウム
／川崎町でエネルギーの自給自足について学びました！
- P3. 家庭ごみのゆくえを見た
／行政・NPO・市民がごみ減量で話し合った交流大会
- P4. MELONcafe フチ講座
／かんきょう読み聞かせ「野の花ごはんーおもてなし考ー」
- P5. 協同組合からのお知らせ
／50人リレートーク 岡崎美穂子さん
- P6. ストップ温暖化センターみやぎ通信
- P7. 仙臺農塾「東北人ならお米でしょ」おいしい無農薬ごはんを味わう
／「GO!!GO!!89ERS ECOスクール！」開催
／食欲の秋といえば芋煮！
- P8. 小さな太陽光発電／イベント一覧／編集後記

「宮城県産材を使用した地球環境に優しい住宅」 建設に向けた見学会とシンポジウム

「木造住宅と自然エネルギー見学会
～個人宅の薪・ペレットストーブ等の活用方法を見学～」
日 時：10月27日（日） 9：45～17：00
参 加 者：13名
見学場所：（一社）ブッシュ・クローバ・コミュニティ事務所兼自宅、
（株）建築工房零事務所・「太陽と棲む建築士の自邸」、
由利設計工房が設計した個人住宅2軒



なんと庭に薪釜とピザ窯が！

県産材・省エネ・自然エネルギーを取り入れている住宅の見学会を行いました。見学先のお宅は、薪ストーブの暖かさでとても快適です。薪ストーブの炎を見ていると、心も身体も温まります。ある1軒のお宅では庭に大きな薪釜があり、ご飯を炊いたり、ピザを焼いたりとしながら使用しているとのこと。参加者は、県産材や自然エネルギーの設備を楽しみながら使用している様子を実際に見て参考になったようです。

「宮城県産材を使用した地球環境に優しい住宅のシンポジウム」
日 時：11月11日（月） 18：00～20：45
会 場：フォレスト仙台第2フォレストホール
参加者：54名
講 師：佐藤久一郎さん（南三陸森林組合 代表理事組合長）、村松淳司理事、
小野幸助さん（MELON版復興住宅検討委員、（株）建築工房零代表取締役）、
後藤一磨さん（MELON会員、南三陸木の家づくり互助会会長）



環境にいい家ってどんなだろう、活発に意見交換

これから住宅を建設予定の方や一般の方、行政、工務店向けに「宮城県産材を使用した地球環境に優しい住宅」のシンポジウムを開催。宮城県の森林の現状がどれくらい緊迫した状況なのか、地元の工務店に県産材を使用した住宅建設を依頼すると雇用の増加につながったり運搬の化石燃料が少なくて済むこと。震災後はどういったエネルギーが望ましいのか、実際に住宅を再建される方や専門家を講師として招き、各問題点・課題点について意見交換をしました。参加者からは現在の森林の現状や木材の供給情報、被災した南三陸で「木の家」の建設が進んでいる情報を聞くことができ良かったとの声が聞かれました。今後もMELON版復興住宅検討委員会はこのようなイベントを開催していきたいと思います。

川崎町でエネルギーの自給自足について学びました！

「自然エネルギー体験・勉強会in川崎町
～水車と薪ストーブに触れて薪で焼く石窯ピザを味わおう！～」
日 時：11月17日（日） 11：00～15：00
会 場：ぱびハウス川崎店
参加者：17名

自然エネルギー等普及プロジェクト小水力班では、手作り小水力発電「北原の水車」を多くの方々に知ってもらい、川崎町における地産地消のエネルギーについて学んでいただくことを目的に勉強会を開催しました。水車の設置・管理を行っているNPO法人川崎町の資源をいかす会の桜台さんより、水車の概要説明・維持管理・水利権を取得するまでについてお話を聞きました。昼食は、ぱびハウス店長の佐藤さんのご指導で、薪で焼く石

窯ピザのトッピング体験をし、美味しくいただきました。昼食後、川崎一仙台薪ストーブの会の川崎さんから自宅で薪ストーブを普段から使用し、環境負荷が少なく、コストパフォーマンスにも優れている点など体験談を交えながら、わかりやすく説明していただきました。今後も継続して水車に触れる講座を開催したいと思っています。



水車の説明に聞き入る参加者

家庭ごみのゆくえを見た

環境施設見学会「家庭ごみのゆくえを見てみよう」

日 時：11月14日（木）10：00～15：00

見学場所：仙台市松森工場・松森資源化センター・

新港リサイクル株式会社

参加者：18名

仙台市環境局の「ワケルくんバス」で家庭ごみ焼却施設である「松森工場」、隣のピン・缶・ペットボトルなどを分別処理して商品化する「松森資源化センター」、プラ容器包装を分別処理してパレット（荷台）などの製品化をしている「新港リサイクル株式会社」の見学会を行いました。

松森工場では最新式の処理システムとともに7万tにも及び膨大な燃えるごみの量に圧倒されました。一掴み8tという大きなクレーンでごみを吊り上げてバラバラ



処理済みのペットボトルを前に熱心に話を聞く参加者

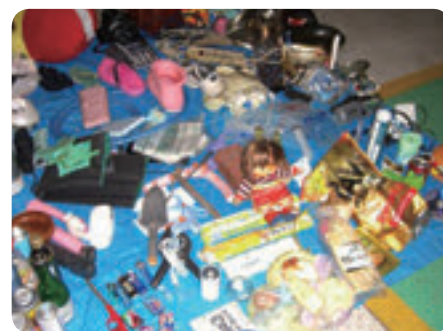
と落とし、燃えやすいもの、燃えにくいものが均一に混ぜられますが、クレーンの大きさにびっくり。

松森資源化センターではピン・缶・ペット

ボトルを乗せて一定の速度で流れるベルトコンベアの上から異物を目で見つけて手作業で取り除く作業を見学しました。絶えず落ちるピンの割れる音やジュースの飲み残しの異臭などに悩まされているそうです。長時間の作業はできず、45分運転したら15分機械を止めて、全員休憩というリズムを厳格に守っているとのこと。

新港リサイクル株式会社ではプラ袋に入れられてくる異物のやかん・フライパンにびっくり。これがなぜ、容器包装プラスチック???

ごみを出すときは処理に携わる方の苦労にも思いをはせて、しっかり分別しなくてはいけないと実感した一日でした。来年度もこの時期に見学会を実施しますので、お誘い合わせの上、ぜひご参加ください。百聞は一見にしかず、です。



プラ袋に入ってきた異物の数々

行政・NPO・市民がごみ減量で話し合った 廃棄物減量等推進員東北交流大会

「廃棄物減量等推進員 東北交流大会」

日 時：11月22日（金）13：00～16：40

会 場：フォレスト仙台第2フォレストホール

参加者：74名

共 催：ごみ減量ネットワーク

「家庭から、地域から、目指そう『ごみゼロ社会』」をテーマに、町内のごみ回収拠点で市民のごみ出しを指導している「廃棄物減量等推進員（仙台の場合はクリーンせんだい推進員）」の東北交流大会を開催しました。

町内会の役員として参加した方もいれば、一般市民として、あるいは廃棄物行政に携わっている方など、立場や肩書はさまざまでしたが、資源になるものを燃えるごみにしない、ルールを守ってごみを出すということを市民に理解してもらうにはどうしたらよいかと話し合いました。



3Rはお得★アルミカップと製氷皿で食品を上手に保存

節約アドバイザーである和田由貴さんの「お財布にやさしい3R講座」と題した基調講演は、中学生のお子さんをお持ちの家庭の主婦としての実践に裏打ちされたお話で参加者に感銘を与えました。



MELONcafe

11月23日（土）13：30～14：30
「古着をリメイク★ブックカバー作り」
参加者：7名

11月は、秋の夜長の読書にぴったりの「古着のブックカバー作り」を行いました。材料は寄付していただいた着古した着物です。仙台市の昨年度の「布類」のごみ排出量は0.8万 t。購入する前に本当に今必要かを考えたり、古くて着なくなった服は小物にリメイクしたり、小さく切って雑巾の代わりにすると、ごみの量を少しづつ減らすことができます。今回はインターン生が主体となって行いました。イベントの企画から司会進行の働きまで初めてのことばかりでしたが、当日は司会から講師・裏方までしっかり担いました。読書が趣味の男性



男性の飛び入りもありました！

の飛び入りもありました！

が1名飛び入りで参加！久しぶりに針をもったようでしたが、無事に作ることができました。

また、節電対策としてMELONcafe出張講座「リメイクキャンドル作り」を仙台東四郎丸町内会婦人部で行いました。冬至と夏至の夜2時間電気を消して過ごす「100万人のキャンドルナイト」を話題として、無理なく行える節電を紹介。今回のキャンドル作りには定義山から譲り受けたロウソクを再利用し、ごみの減量につなげました。

2月は着古した着物で「貝のおひな様作り」を行います。みなさんも参加して世界でたった1つのおひな様を作りませんか？



東四郎丸町内会婦人部のみなさんとリメイクキャンドル作り★

今後のMELONcafe プチ講座

2月15日（土）13：30～15：30
「着物でリメイク★貝のおひな様作り」



野の花ごはん —おもてなし考—

20年ほど前のこと、韓国の留学生がドングリから作る寒天のようなものを食べさせてくれたことがあります。「トリ ムック」というらしい。そのときは「ドングリって食べられるんだ！」と驚いたことは覚えています。また、春になれば山に出かけ、妻の両親に弟子入りし、山菜採りの達人になろうとしたこともあり

ました。山菜採りから落ちこぼれたこの私でも野草のシェフになれそうな気分させてくれる本を見つけました。前田まゆみ著「野の花ごはん」（白泉社、2013年3月）を取り上げてみましょう。では、この本の見返しにある「野の花ごはん堂のなかまたち」からシェフ見習いになっている『たぬき』に語ってもらいましょう。

どうぞっ！

「あっ、あの、その・・・どうして『あなぐま大将の弟子』だけ、ま、まるい帽子じゃないんですか？えっ、あっ、気になったもんですから、はい。わたくしはこの本の中では『よもぎと松の実、ジャガイモとインゲンのパスタ』でヨモギをさっ



とゆでていますし、『香草と里芋のポトフ』では里芋むいてますです。忠告しますがね、あんたが『まていに（ていねいに）』とってきたフキノトウやコゴミも天ぷらだけでなく、別の料理法も覚えた方がいいじゃないかあ。フンフン。やまぶどうねえ。寒河江のパーキングに売ってたって？ほんと？シロップにしない？あっ、そっ、イチジクは自前ね。フンフン。自分で煮たって？なーんだか。皮むかなかったんでしょ、あんたのことだから。でも、いいんじゃないの。フンフン。野の花が食べられなかったら、一大事だってこと、忘れるんじゃないよ。」

さすがはシェフ見習いのたぬき君だね。たっぷりお金を使った「お・も・て・な・し」より、さっぱりした野の花の「おもてなし」の方がなんか心が豊かになるかなあ。

各協同組合からのお知らせ

MELON の協力団体である各協同組合が取り組んでいる、環境に関する情報をご紹介します。

～みやぎ生活協同組合～ 「みやぎの水辺DVD」をつくりました

みやぎ生協は1992年から「水辺の観察と水質測定」活動を行い、五感を使った評価方法を取り入れ、参加者が水辺に親しみ、水環境・水循環について考えていく機会をつくってきました。しかし震災の影響で2011年・2012年は測定活動を見合わせました。2013年度に再開するにあたり、20年間の活動データをまとめ、震災によって大きく変わってしまった水辺の変化の記録を残し、宮城の水辺の再生を願い、環境教育の資料としても役立てるために「みやぎの水辺DVD」を制作しました。

このDVDは「水辺の観察と水質測定」を行う際の事前学習にも役立つ内容になっています。

DVDのお披露目は3月21日以降になりますが、より多くの皆様にご活用いただくことを願っています。



問合せ・連絡先 みやぎ生協生活文化部くらしの活動事務局
〒981-3194 仙台市泉区八乙女4-2-2
TEL: 022-218-3880 FAX: 022-218-3663 メール: sn.mkankyok@todock.jp



MELON20周年をめざせ！ 50人リレートーク



第49人目の執筆者

岡崎美穂子さん

(「名取市自然と地域とのふれあい活動推進委員会」委員)

真冬にホタルのお話です。初夏の夜、カエルの声が響く水辺にホタル観察に出かけてみませんか？

仙台周辺のホタルは6月中旬頃から羽化し始めますから、見ごろは6月下旬以降です。蒸し暑くて、あまり風の強くない夜が良いですね。梅雨時ですが少々の雨なら大丈夫です。ゲンジボタルは7月中旬頃まで、ヘイケボタルは場所によってお盆過ぎまで見られます。

観察場所には20時頃に到着しましょう。ホタルが活発に飛び回るのは日没の1時間後からの1時間程度からです。大きな光をゆっくりと点滅させながら飛んでいるのはゲンジボタル、チカチカと忙しく光っているのがヘイケボタルですから、捕まえてみなくても光り方で種類はわかりますよ。

飛んでいるのはほとんどが雄です。飛びながら、草葉に止まって光る雌を探しているのです。ホタルが光るのは雄と雌が出会うための交信ですから、街灯が明るいと雄は雌の光を見つけることが出来なくなり、暗い所へ移ってしまいます。

観察場所には街灯の無い暗い所を探してみてください。

昔はホタルがたくさんいたのに…、環境が悪くなったのだろうと感じている方が多いと思います。夜、世の中が明るくなったという点では確かにそうでしょう。しかしホタルの幼虫が息する水環境は数十年前よりずっと良くなっています。蒸し暑い夜に、昔のように夕涼みがてら団扇片手に散歩する習慣が無くなって、ホタルを見る機会が減ったのではないのでしょうか。

車で走っているのはホタルがいても気が付きません。車を降り、ヘッドライトを消して周りを見渡してみましょう。思っている以上に身近な所に、まだまだたくさんのホタルがいることに気付くことが出来ます。

そうそう、夜中の12時過ぎに活発に光るヒメボタルを忘れていました。このホタルはピッ、ピッと強く閃光的に光ります。乱舞する場所を見つけるとまるで真夏の光のページェントを見るようで、とても幻想的です。

◇連絡先

株式会社 日本作品研究所 取締役
〒171-0022 東京都豊島区南池袋2-36-10 SOHO南池袋ビル205
TEL: 03-5958-3381

… 次号執筆者紹介 …

伊藤絹子さん

(東北大学大学院農学研究科
水産資源生態学分野 助教)



ストップ温暖化センターみやぎ通信 Vol.63

じゃじゃ！大学生が見た「国際会議のウラ側」 入門ワークショップ 開催！

日 時：11月16日（土）14：00～16：00（16：00～17：00交流会）
会 場：フォレスト仙台5階 501会議室
内 容：1. 国際会議の体験談
講師：廣岡睦さん（Climate Youth Japan創設メンバー、前副代表）
武田麻里さん（Climate Youth Japan副代表）
2. ワークショップ「COP20でCYTはどうする？」
講師：宮腰義仁さん（国際青年環境NGO A SEED JAPAN理事・事務局長）
参加者：大学生14名

11月11日～21日にかけて、ポーランドのワルシャワで温暖化に関する国際会議「気候変動枠組条約第19回締約国会議」（COP19）が開催されました。

COP開催に合わせ当センターでは、大学生を対象に、国際会議への若者の関わり方を学び関心をもってもらうことを目的としたワークショップを開催しました。

ゲストは、学生時代にCOPに参加した経験のある廣岡睦さん、武田麻里さん、そしてワークショップ講師の宮腰義仁さんです。



廣岡睦さん

廣岡さんは、インターン先の団体からの誘いをきっかけにCOP13へ参加し、そこで世界から集まった若者の規模や知識の深さ、ネットワークに圧倒されたそうです。そこで日本からもCOPへ継続して若者を派遣する団体として「Climate

Youth Japan（CYJ）」を創設されました。そして、CYJの制度を利用してCOP17へ参加した武田さんは、現地の専門家が持っている知識やネットワークの凄さと同時に、若者が現地で与える影響力のなさに無力感を感じたそうです。しかしながら、「将来を担っていく若者が国際交渉の場にいるというだけで、交渉官に影響を与えている」「今後の社会の意思決定者として働く世代である若者が国際会議に行き経験を積むことで、ネットワークや知識やスキルを身につけ、リーダーとして成長していく場になりうるのではないか」その可能性を信じ、武田さんもCOP派遣事業に携わるようになった



武田麻里さん

そうです。

続いて、「COP20でCYTはどうする？」と題して、グループに分かれ、来年ペルーで開催されるCOP20への自分たちの関わり方の計画を立てるワークショップを行いました（CYTとは、CYJのTohoku版という意味を込めて宮腰さんが命名）。

各グループからは、「COP会場で台風をモチーフにした仮装をしてアピールする」「CYJの報告会を東北でも開催する」といった個性豊かなアイデアが出され、大いに盛り上がりま

した。
今回出されたアイデアが実現し、次のアクションにつながることを期待しています！



宮腰義仁さん



グループごとに考えた計画を発表しました

「CYJプレゼンツ！COP19報告会」開催決定！

今回のCOP19にもCYJから若者が派遣されました。ポーランドでは、どんな活動を行って何を見てどう感じてきたのでしょうか？現地派遣者を仙台にお招きし、生の声を伺います！お申込みはストップ温暖化センターまで（022-301-9145）。

日 時：2014年2月8日（土）14：00～16：00

会 場：フォレスト仙台5階 501会議室

（仙台市青葉区柏木1-2-45）

内 容：COP19参加者からの報告、ワークショップ

ゲスト：Climate Youth Japan



仙台農塾 Vol.2 第2回

「東北人ならお米でしょ♪おいしい無農薬ごはんを味わう」

日 時：11月6日（水） 19：00～21：00
 ゲ ス ト：黒澤重雄さん（涌谷町 米農家）
 会 場：エル・パーク仙台5階創作アトリエ
 食事協力：割烹 若寿司（登米市佐沼）
 参 加 者：24名

涌谷町の3代目農家で、農薬・化学肥料不使用でお米を作っている黒澤重雄さん。その初代の教えは、「お米は、おてんとう様と田んぼと水があればできる。米は取ったと言うな、いただくものだ。」それを守ってきただけで黒澤さんは語ります。田んぼから出た物は堆肥にして土に返し、その土の力でお米をいただく。生糞は田んぼに戻してコンバインで裁断し、代掻きや除草機をかけて土に返す。また力の弱い田んぼには、もみ殻と米ぬかと

発酵菌を混ぜて作った堆肥を春に入れているそうです。

また、「宮城で一番早いお米『おもてなし』や、東北の気候では育てるのが難しい酒米『山田錦』を育てるには苦労や工夫があるのでは？」との質問には、「ものすごく工夫してません。普通に作っているだけです。苦労どうこうというのは全くない。楽しみでやっているんです。」と地道な土づくりをしてきたからこそその自信に溢れた言葉に頼もしさを感じました。



ゲスト黒澤重雄さんと黒澤米山田錦のお酒

「GO!!GO!!89ERS ECOスクール！」開催

日 程：12月7日（土）
 会 場：HALEO ドーム
 参加者：19名
 主 催：(株)ウジエクリーンサービス、(株)仙台スポーツリンク、(公財)みやぎ・環境とくらし・ネットワーク

プロバスケットbjリーグ・仙台89ERSのホームゲームにおいてECOスクールを開催。環境活動にも熱心な株式会社ウジエスーパーの子会社、株式会社ウジエクリーンサービスとの共催で、さらに今回の運営費にウジエスーパーのレジ袋代として集めたお金をご寄付いただきました。

内容は、ウジエクリーンサービスの環境への取り組みの紹介、植物とのふれあいを目的としたクリスマスの寄せ植え作り、使用済みペットボトルでのツリー作り、

エコステーションのごみ分別模擬体験と盛りだくさん。ペットボトルのツリーは仙台89ERSの試合会場で排出されたペットボトルをツリー状に貼り付けて、LEDライトで装飾したものです。

参加者は苦戦しながらも寄せ植えやペットボトルのツリーを楽しく作ることができました。またごみ分別の模擬体験では、「紙やプラスチックでも汚れたものはリサイクルできないことを初めて知りました。」といった感想も聞かれ、有意義な時間となりました。



子どもたちとペットボトルのツリーを作りました！

食欲の秋といえば芋煮！

「エコ芋煮会～秋だ！地産地消だ！芋煮会だ！～」
 日 時：10月20日（日）10：00～13：30
 会 場：フォレスト仙台5階 501会議室
 参加者：29名（内：子ども1名）
 共 催：東北工業大学 環境学生サークルたんぽぽ

秋の味覚を思いっきり楽しもう！というテーマで、たんぽぽのみなさんと企画した芋煮会。メニューは仙台風芋煮、山形風芋煮、鮭のチャンチャン焼き、と豪華！牛肉とデザートのみりんご以外は全て宮城県産の食材を使用し、地産地消を実践。山形の芋煮は内陸風の牛肉・醤油

味と庄内風の豚肉・味噌味に大きく二分するそうです。仙台風が味噌味なので、醤油味の内陸風を作りました。広瀬川周辺のごみ拾いを予定していましたが、雨のため室内で開催。里芋以外は皮付きのまま調理したり、生ごみを堆肥化することで「エコ」を考えてもらう機会になりました。おなか一杯、ごちそうさまでした！



鮭のチャンチャン焼き調理中♪マヨネーズをかけて食べると◎

太陽光発電をはじめませんか？

タイニーライト・ナノ発電所セット

40W 高出力太陽光発電パネル・
大容量充電式バッテリー（75,000mAh）
セット価格58,000円（消費税・送料込）
別売りアクセサリ：ナノ発電所用インバーター 3,980円（税込）

MELON で
取扱い中!!



地球温暖化防止のため、化石燃料の代替エネルギーとして期待される自然エネルギーの普及を目指しています。太陽光発電パネルは3.5kgと軽量で、庭先やベランダなど簡単に設置や移動ができます。充電式バッテリーは2.6kgの片手で持てるハンドル付で、超大容量リチウムポリマーバッテリーを搭載。太陽光パネルで発電した電力はバッテリーに充電でき、携帯電話、iPadなどを充電したり、LED照明、パソコン、小型扇風機などを動かすことができます（一般家電製品で活用する場合は、別売のインバーターが必要です）。日常的に使用しながら、停電時の電源として災害時の対策にもなります。MELONを通して購入いただいた場合、売り上げの一部がMELONの環境活動に活用されます。小さな太陽光発電、はじめませんか？

詳しくはこちら（PDFチラシ）

<http://www.melon.or.jp/melon/img/paper14/sorabeapaper.pdf>

MELON イベント情報

これから開催を予定しているイベント・会議をご紹介します。

各イベント参加者を募集しています。詳しくはMELON事務局までお問合せください。

※会員以外の方も参加できます。

1/17（金）	自然エネルギー等普及プロジェクト部会 例会
1/19（日）	「冬のキコリ体験講座」開催
1/22（水）	4R 推進部会 例会／MELON 版復興住宅検討会議
1/23（木）	MELONcafe 例会
1/25（土）	水部会 例会
1/26（日）	「冬のライフスタイルセミナー～ライフスタイルの転換で省CO ₂ を！～」開催
1/28（火）	食部会 例会
2/1（土）	東北地区 ESD 環境学習プログラム成果発表会～ESDの視点から地域を学ぶ～開催
2/12（水）	「仙臺農塾『健康ごちそうさま！～健康な牛がうまいワケ～』開催
2/15（土）	MELONcafe プチ講座 「着物でリメイク★貝のおひな様作り」開催
2/23（日）	GO!GO!89ERS!!ECO スクール「環境に配慮した肥料の『無限』で作るおティナ様の米粉パフェづくり」開催
3/1（土）	MELONcafe プチ講座 「米粉で簡単♪桜もち＆イチゴ大福作り」開催
3/2（日）	「セキ浜環境フェスタ」にブース出展
3/8（土）	シンポジウム「自然エネルギーを考える（仮）」開催 ／親子 de エコ・にこクッキング「つくって、たべて、あそぼう！～納豆作り＆お米と大豆の料理教室～」開催
3/15（土）	仙臺農塾「大人の遠足！！三浦さんのセリに会いに行こう～収穫から鍋を体験！～」開催
4/9（水）	仙臺農塾「よみがえれ！日本の消費者～食品流通の変化に翻弄されるな～」開催

※日程や内容の変更、上記以外にもイベント開催する場合があります。ご了承ください。

編集後記

- 6月から8か月間MELONで活動していたインターン生が1月で終了します。インターン生とともに私も多くの事を学びました。一緒に活動してくれたことに感謝しています！（岸）
- 電気を使わない生ごみ堆肥化。発泡スチロール箱を使ったもの、不織布を外側に貼った方式のものなど。寒くなったのでダンボールの“どんぶく”を着せました。（篠原）
- うちには内窓があるので冬は窓から冷たい冷気がこなくて快適です。部屋も半分に間仕切ることができるので暖房代もその分少なくすみます！（菅田）
- 寒いと外に出たくなくなりますが、山や森の仕事は冬が本番！雪降る山も良いらしいです。外に出かけるのが何よりの家庭の省エネ♪冬もアウトドアを楽しもう♪（廣重）

〈会員状況〉

785 名

法人 80

任意団体 13

個人 692

2013 年 12 月 2 日現在



ボランティアポイントカード制度をご活用ください

会員の方には、「MELON ボランティアポイントカード」を発行しています。部会・プロジェクトの例会出席、作業やイベントでのお手伝いをする、1ポイント差し上げます。5つ貯まると1,000円分のMELON協力商品券と交換できます。

MELON 協力商品券とは

みやぎ生協、日専連仙台で発行している商品券です。金額の一部がMELONに寄付され、環境保全活動にいかされます。宮城県内の日専連加盟店及びみやぎ生協の各店舗でご利用になります。

発行元 公益財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク（MELON） Miyagi Environmental Life Out-reach Network

〒981-0933 仙台市青葉区柏木1-2-45 フォレスト仙台5F

★事務局 TEL 022-276-5118 FAX 022-219-5713

★情報センター TEL 022-301-9146 FAX 022-219-5713

★ストップ温暖化センターみやぎ TEL 022-301-9145 FAX 022-219-5710

E-mail melon@miyagi.jp URL <http://www.melon.or.jp/melon/>



この印刷物は、輸送・マイレージ低減によるCO₂削減や地産地消に着目し、国産米ぬか油を使用した新しい環境配慮型インキ「ライスインキ」で印刷しており、印刷用紙へのリサイクルが可能です。

※ MELON 情報紙は再生紙を使用しています。